

## 日本の会社で働いて大変だったこと・よかったこと

動画リンク: <https://youtu.be/rSLNOzCtkYg>

今回は「日本の会社で`働いて大変だったこと・よかったこと」を学びながら、日本語を勉強しましょう。

この動画は、前半は少しゆっくりのスピードで、漢字には「ふりがな」があります。後半は少しだけ速く(+20%)なり、漢字に「ふりがな」はありません。学習にお役立てください。

### ■自己紹介

私の名前はワンメイリンといいます。漢字では、王美玲と書きます。台湾からきました。

私は今、日本の貿易の会社で働いています。

会社の場所は東京です。日本にきてまだ3年くらいです。

私は月曜日から金曜日まで働きます。土曜日たまに出勤し、1ヶ月で23日間くらい働きます。

私は日本の会社で働いています。私が日本の会社で働くことを決めた理由はいくつかあります。

まず、安定した仕事環境に魅力を感じたからです。

日本の会社は、長期的な雇用が期待でき、社会保険や福利厚生も充実しているため、将来に対する安心感があります。

また、私は昔から日本の文化や伝統的な働き方に興味がありました。

特に「お客様第一」の考え方や、細かいところまで気を配る仕事の進め方を学びたいと考えていました。

私は台湾の台北で生まれ育ちましたが、仕事のために東京に引っ越してきました。

最初は日本での生活に少し戸惑いましたが、今では東京での暮らしや仕事にもすっかり慣れました。

日本の会社で働くことは大変なときもありますが、それと同時にとてもやりがいがあります。

この動画では、私が日本の会社で働く中で感じた大変だったことと良かったことについて紹介します。

これから日本の会社で働きたいと考えている外国の人に、私の経験が少しでも役に立てば嬉しいです。

#### ■日本の会社で大変だったこと

日本の会社で働いていて、いくつか大変だと感じたことがあります。

まず、私が特に大変だと感じたのは日本の会社の転勤文化です。

日本の会社では、転勤が突然決まることがあります。ある日、急に「来月から大阪で働いてください」と言われたことがありました。

私も転勤を経験しましたが、引っ越しの準備や新しい生活への不安でとても戸惑いました。

特に家族や友人と距離が離れてしまうのは大変なことです。これに慣れるのには時間がかかりました。

今思い出してもこれは本当に大変なことでした。

私のように外国人の場合、同じ日本でも言葉の壁があります。例えば、東京は標準語ですが、大阪は大阪弁(関西弁)です。

加えて、文化が異なる土地に移動することで、さらに大きなストレスになることがあります。

次に、有給についてお話しします。日本の会社には「有給休暇」という制度があります。

有給休暇とは、仕事を休んでも給料がもらえるお休みのことです。日本では、毎年一定の日数の有給休暇が法律で決められています。

しかし、実際に有給を取得するのは簡単ではありません。特に有給取得の難しさに悩まされることが多いです。

有給を申請するタイミングや、休みを取るための暗黙のルールがあることが多いです。

「特にそういう決まりがあるわけではないが、みんなが守っているルール」みたいなものです。

そのため、外国人の私にはそれがとても分かりにくく、自由に使えるはずの有給が取りにくい雰囲気があります。

周りの目を気にして、有給を取りづらいつと感じることも少なくありません。

実際に休みを取るときには、他の人に迷惑をかけないように気を使う必要があり、これがプレッシャーになります。

さらに、日本の会社では残業文化も一般的です。

長時間労働が当たり前とされていて、終業時間が過ぎても帰りづらい空気を感じるがありました。

特に、早く帰ると「他の人に比べて仕事ができない」と思われるのではないかという不安があり、残業せざるを得ない状況が続くこともあります。

もちろん、残業があるのは仕事の内容や状況によって仕方ないこともありますが、それが当たり前とされるのは、ときどき大変に感じます。

上下関係についても、たまに難しいと感じることがあります。

日本の会社では、上司や年上の同僚との関係が重要視されます。

上司に意見を言いづらかったり、どうやって自分の考えを伝えるべきか悩んだこともあります。

また、年齢や経験の差があると、コミュニケーションが難しくなることがあります。

最後に、会議や報告の進め方にも苦労しました。日本の会社では、会議や報告書をとてもフォーマルに進めることが求められます。

会議では、みんなの意見を聞くことが大切ですが、決定に時間がかかることがあります。

また、報告書を書くときには、細かいところまで気を配り、完璧に仕上げる必要があるため、慣れるのに時間がかかりました。

このように、日本の会社で働くことにはさまざまな大変さがありますが、それと同時に学びも多く、良い経験にもなっています。

#### ■日本の会社でよかったこと

日本の会社で働いていて、良かったと思うこともたくさんあります。

まず、私は会社で学んだことが多くありました。特に、チームワークやコミュニケーションの大切さを強く感じました。

日本の会社では、仕事は一人で完結することが少なく、チームで協力して進めることがほとんどです。

そのため、他のメンバーとコミュニケーションをしっかりと取ることが重要です。

最初は少し戸惑いましたが、次第にチームで仕事をする楽しさや、協力し合うことの大切さを学びました。

また、私は我慢強さや自己管理のスキルも身につけることができました。

仕事が忙しいときでも、冷静に対応し、目の前のタスクに集中する力がついたと思います。

自己管理がしっかりできるようになったことで、ストレスをうまくコントロールできるようになり、効率的に仕事を進める方法も学びました。

次に、仕事の安定性についても大きなメリットを感じています。

日本の会社は、長期雇用が一般的です。そのため、安定したキャリアを築くことができます。

また、福利厚生や社会保険が充実しているため、安心して仕事に専念できる環境が整っています。

私自身も、将来の不安が少なく、落ち着いてキャリアを積み重ねることができていると感じます。

会社での人間関係についても、良い経験がたくさんあります。

日本の会社では、仲間意識が強く、助け合う文化が根付いています。

私は何度も、同僚に助けられたり、逆に自分が同僚をサポートすることがありました。

そうした経験を通して、強い絆が生まれ、仕事を進める上で大きな力となっています。

また、会社の飲み会やイベントを通じて、仕事以外の場でも同僚との関係が深まり、さらに良いチームワークを築くことができました。

さらに、日本の働き方の特徴として、「お客様第一」の姿勢や、細かい仕事の進め方があります。

私はこの点にとっても感銘を受けました。これは、台湾ではちょっと考えられないことです。

日本の会社では、お客様に満足してもらうことが何よりも大切にされており、どんなに小さな仕事でも手を抜かず、常に高い品質を目指します。

このような働き方を通じて、私は高品質な仕事を提供するための努力を学びました。

これにより、私自身も常にベストを尽くすことを心がけるようになりました。

最後に、成長できる環境についても、非常に恵まれていると感じます。

日本の会社では、社員が新しいスキルを学べる研修制度が充実しています。

私もさまざまな研修に参加することで、仕事に必要なスキルを身につけることができました。

また、自分の役割以上のことに挑戦できる機会が多いことも、私が成長できた理由の1つです。

新しいプロジェクトに参加したり、責任ある役割を任されたりすることで、常に自分を成長させることができています。

このように、日本の会社で働く中で、多くの良い経験がありました。

これらの経験を通じて、私はスキルだけでなく、人としても成長することができたと感じています。

## ■日本の会社で働くうえでの大切なマナー

日本の会社で働くうえで、大切なマナーがいくつかあります。

まず、時間厳守です。日本の会社では、時間を守ることが非常に重要視されています。

例えば、朝の始業時間に1分でも遅れると、それが問題になることがあります。

会議やアポイントメントでも、時間通りに始めることが期待されます。

日本では、時間に遅れることは相手に対して失礼だと考えられており、そのため、私は常に時間通りに行動するよう心がけています。

次に、敬語や礼儀も重要です。日本の職場では、上司や取引先に対して、丁寧な言葉遣いや態度が求められます。

敬語は、相手への敬意を表すために使われますが、正しく使うのは簡単ではありません。

私は、敬語の使い方を学ぶために、たくさん練習をしました。

また、礼儀についても気をつける必要があります。

例えば、名刺を受け取る時は、両手で丁寧に受け取るなどの細かいマナーが大切です。

これらのマナーを守ることで、良好な人間関係を築くことができます。

そして、「報告・連絡・相談」の文化も、日本の会社では非常に大切です。

日本ではよく「ホウレンソウ」と言われています。

野菜のほうれん草と同じ名前なのですぐに覚えることができましたが、実際にこれができるようになるまでは何度も怒られたりしました。

仕事の進捗や問題が発生した場合、上司や同僚に早めに報告することが求められます。

問題を隠しておく、後で大きなトラブルになることがあるため、常に正確な情報を共有することが重要です。

また、連絡を怠ると、仕事がスムーズに進まなくなることもあります。

そのため、私は報告や連絡をこまめに行い、常に周りの人とコミュニケーションを取ることを意識しています。

日本の会社で働くうえで、これらのマナーを守ることは、信頼関係を築くために欠かせません。

特に、時間を守ることや丁寧な言葉遣い、そして適切な報告や連絡は、日々の仕事を円滑に進めるために必要なスキルです。

これらを意識することで、職場での評価も上がり、チームの一員としてしっかりと役割を果たすことができます。

## ■まとめ

日本の会社で働くことで、私は多くの成長を感じています。

特に、時間を守ることやチームワークの大切さ、そして自分の役割に責任を持つことが身につきました。

また、仕事を通じて、ストレスを上手にコントロールする方法や、どんな状況でも冷静に対応するスキルも習得しました。

これからの目標としては、さらに自分のスキルを磨き、より多くの人と良いコミュニケーションを取れるようになりたいと思っています。

リーダーシップを発揮できるようなポジションに挑戦し、チーム全体をサポートできる存在になることが私の目標です。

次に、外国人にとって日本の会社で働くことのメリットとデメリットについてまとめます。

まず、メリットとしては、日本の会社は長期雇用が一般的であり、安定したキャリアを築ける点があります。

また、福利厚生や社会保険が充実しており、安心して働ける環境が整っています。

さらに、日本人の働き方は非常に丁寧で細やかなので、そこから多くのことを学び、高品質な仕事を提供するスキルを身につけることができます。

これは、どの国で働く場合でも役立つ大きな強みです。

一方、デメリットとしては、文化や言葉の壁が存在することが挙げられます。

特に、敬語や日本特有のマナーを理解するには時間がかかります。

また、転勤や長時間労働、残業が当たり前とされる文化は、私のような外国人にとっては負担になることがあります。

さらに、有給休暇の取得が難しい場合もあり、働き方の違いに戸惑うこともあるかもしれません。

しかし、日本の会社で働くことは、確実に成長の機会を与えてくれるものです。

多くの挑戦を乗り越えることで、国際的な視野を持ち、グローバルなビジネスパーソンとして成長できるチャンスがあります。

外国人にとっても、日本の会社で得られる経験は大きな財産になるはずです。

私は日本に来て、日本で働いたことで、自分が成長したと感ずることができています。

「日本の会社で働いて大変だったこと・よかったこと」はいかがでしたか。

コメント欄から感想をみんなに教えてください。

それでは、また別の動画でお会いしましょう。



**Japanese-listening-SUSHI**

